



広谷っ子

令和4年11月30日

NO. 15



全国学力・学習状況調査の結果について

子どもたちの学力の状況を把握し、今後の指導に生かすため、小学校6年生と中学校3年生を対象に毎年「全国学力・学習状況調査」が実施されています。今年は、国語、算数、理科と生活等に関する質問紙の調査が行われました。

この度、養父市全体の状況が整理され、11月号の広報に掲載されましたので、広谷小学校の結果と今後の対策についてお知らせします。



1 国語

(1) 正答率が高かった問題

① 漢字を書き直す問題について

毎日、宿題として漢字の書き取りを行ったり、こまめに小テストを実施したりして、漢字の定着を図ってきたことによる結果だと考える。

② 登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉える問題について

物語文の学習で登場人物の心情に迫る際、会話文や動詞等、どの言葉に着目するとよいか指導してきた結果だと考える。

(2) 課題のある問題と原因

① 文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つける問題

人物や物語の全体像を具体的に想像する問題について、普段から「書く」活動が少ない。また、どのように表現するとよいのか分からない児童が多かったのではないかと考える。



(3) 「読むこと」が全国平均を下回っていたが、どのような原因があるか。

① 全体的に読書の時間が少なく、語彙力に課題があると考える。

2 算数

(1) 正答率が高かった問題

① 最小公倍数の問題について

授業だけでなく、宿題でも何度も取り組み、定着を図った結果だと考える。

② プログラミングの問題について

昨年度、プログラミング教育の充実を図るための研修を学校全体で行い、様々な教科で児童にタブレットを活用したプログラミング教育を行ってきた結果だと考える。

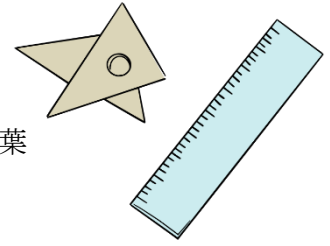
(2) 課題のある問題と原因

① 割合について

文章が長い問題に慣れていない。また、割合の問題を図と式、言葉とつないで考えられず、正答までたどり着くことができなかった。

② 加法と乗法の混合した問題について

長文問題から必要な言葉に着目することができず、応用した問題に対応できなかった。



3 理科

(1) 正答率が高かった問題

特に正答率が高い問題がなかった。

(2) 課題のある問題と原因

① 昆虫の体のつくりを問う問題について

中学年で学習した内容を忘れている。また、普段の生活の中で昆虫に触れ、観察する体験が少なくなっている。

② 問題を解決するまでの道筋を構想し、自分の考えをもつ問題について

授業の中で主体的に課題に対して取り組むことができている児童が多く、受動的になっていることが考えられる。

4 改善に向けた取組

(1) 学習指導

① 国語

「書く活動」に重きを置くための時間を確保していきたい。

② 算数・数学

兵庫型学習システムを活用し、個々に対応したきめ細やかな指導を行っていきたい。

③ 理科

自分の考えを表現できる場をさらに設け、主体的に学習に参加できるよう授業改善を行っていきたい。



(2) 生活指導

今まで以上に、生活アンケートやいじめアンケートの結果を活用し、個々の悩みをいち早く察知し、対応できるようにしていきたい。また、「子どもを語る会」を充実させ、情報の共有だけでなく、指導の在り方などの話し合いが深められるようにしていきたい。

(3) 家庭との連携

学校だよりや通信だけでなく、現在、ホームページを毎日更新し、学校での出来事を保護者が気軽に閲覧できるようにしている。これからも継続し、保護者の関心を惹きたい。

正答率については、国語、算数、理科とも全国平均とほとんど同じ結果になっています。学年によっても傾向が変化することがありますし、幅広い内容の中からその一部について調査が行われているので、正答率のみで判断することは避けなければなりません。一定の水準に達していると考えています。

今回の結果を踏まえ、学習指導の充実に一層取り組んでいきたいと思っております。